

6月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。
 なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

市政を問う



一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、市長などに方針を問うものです。

市長の施政方針について
國信 全国市長会会長選挙に立候補した意義は。
答弁 行政の最先端の現場を担っている自治体の気づきや知恵を活かす政策推進を図る。デジタル革命が進む時代に、新たな自治体経営を実現させる法整備や予算措置について国に提案することで市の活性化に寄与するものと考え立候補しました。
國信 市長職20年間の実績と、これからの市について。
答弁 平成9年就任以来、文教の里多久として発信し市民の長寿や健康そして幸福を追求することを支える思いで当初掲げた、市役所は市民の役に立つところということを胸に刻み4年任期ごとに市政に尽力してきたところです。
 1期目は、「創造・挑戦・透明化」
 2期目は、「住みたい美しいまち多久」
 3期目は、「夢をたくせる未来づくり」
 4期目は、「未来へ新たに伸びゆく多久づくり」
 5期目は、「寄り添う政治」心を動かす市政「大きな志をもった努力」を信条として、企業



國信好永



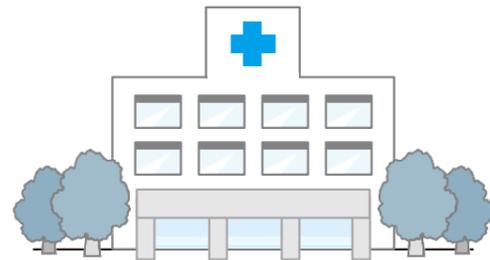
誘致、定住促進住宅団地、定住奨励金の導入なども行い人口減少対策として一定の成果をあげたと考えています。
 市の賑わいづくりでは、まちづくり交流センター「あいばれっと」、アートの街づくり、市民活動のサポート、最近ではシェアリングエコノミー、温泉保養宿泊施設の再生。
 福祉、医療では子どもの医療費助成の充実、保育料の軽減、健診と指導の充実。
 教育ではICT教育の充実、小中一貫教育の市内全校同時開校。学校跡地に、納所交流センター、多久市児童センター、西多久町多目的運動広場を整備。
 また、203号線バイパスの早期完成や多久小域広域クリーンセンター整備など推進しています。

委員会では、「市立病院の今後のあり方」について調査・検討を行うこととしており、市執行部から多久市立病院・小城市民病院の統合について現在の進行状況と、今後のスケジュールについて説明を受けました。
 今年度は、多久市と小城市で用地選定等のための基礎資料作成を行う予定であり、その資料を参考に候補地の絞り込みを進めていくこととなっております。現在のところ、業務委託先を公募型プロポーザルで募集するための準備が進められています。

産業厚生委員会 閉会中審査報告



み短縮を支持される保護者が多かったそうです。また、嬉野市では、2学期制も導入されており、始業式や終業式などを少なくして授業時数を確保され、インフルエンザによる学級閉鎖や風水害等による休校など早めに学校側で判断されているとのことでした。
 委員会では、閉会中の継続審査事項について今後も調査・検討を進めていくこととしました。



本委員会では、医療情勢が刻々と変化していく中、地域に必要な医療は何かを考え、これからも情報収集を行いながら、慎重に審議を進めていくこととなりました。



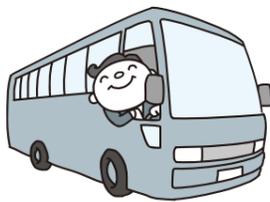
予算特別委員会 審査報告



平成30年度多久市一般会計 補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1830万5000円を増額し、予算の総額を123億3050万5000円とするものです。
 歳出の主な事業として

総務費 ふるさと応援寄附の募集に利用するポータルサイト数の増に伴う業務委託料、宝くじの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業を活用した相の浦区の屋外放送施設整備事業に対する助成金、特定空家等の解体工事費用、温泉保養宿泊施設タクア開業に伴う「ふれあいバス」の運行見直しによる運行管理委託料の増額が計上されています。



消防費 宝くじの社会貢献広報事業である地域防災組織育成事業を活用し、防火衣購入費用が計上されています。



教育費 牟田辺遺跡発掘調査事業費の増額予算が計上されています。
 なお、審査の過程で、ふるさと応援寄附金については、自主財源が厳しい中、貴重な財源となっているため、この事業のメリットを最大限に引き出せないか検討してほしい、地域防災組織育成事業については、地域の実情に合った実践的な指導を各自主防災組織へ早急にしてほしいなどの意見がありました。